



第2回学校運営協議会が行われました

向寒の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、去る11月25日（月）に第2回学校運営協議会が行われました。何かとご多用の中、15名の委員の皆様全員の出席をいただき、無事に開催することができました。開始時刻が19：00であったにもかかわらず、5分前にはお集まりいただき、皆様の熱意を感じました。会の始めに野田学校運営協議会会長より「学校運営協議会は、学校の応援団であり学校が抱える課題について地域でどのように支援を行えるのかという目的で開催します。」という趣旨説明があり、その後、校長のあいさつに引き続き分科会を開催しました。今回は分科会に重点を置き、前回学校がお示した子供の課題についてしっかりと話し合いをしていただきました。



以下分科会の様子をお知らせいたします。

「確かな学び」分科会

課題：学力の定着に心配がある子への習熟支援

2学年のかけ算九九の習熟支援を公民館に協力していただいで実施している。大変効果的で児童一人一人の力を伸ばすことに確実に繋がっていて学校としても大変助かっている。また、本校は、総合的な学習を研究しており、いろいろな体験をさせる時に専門的なことを先生や子供に教えてくださる方や見学の際に見守りに協力いただく方を求めている。校区には、それらの期待に応じられる方がたくさんいらっしゃるの公民館から呼びかけをしていただき、ご協力いただける方の人材バンクのようなものを作成していく。そのため学校側から学年ごとに必要な人材を明らかにしてもらい、その項目ごとに人材募集をしていけばどうか。「子供達に地域の特色や歴史などを伝えていくことは、地域にとっても有意義なことなのではないか」というご意見もいただきました。今後、今年度中に方向性を明確にしていきたい。



「心の育ち」分科会

課題：あいさつの定着

あいさつ運動だけでは限界がある。何か思いやりの心を育む活動、児童の自己肯定感を高める取組ができないか。例えば、子供達同士があいさつを評価し合う取組、地域でも縦割りで関われるような行事の工夫、育友会のPTCA活動で地域の方と積極的に関わる取組をすればどうかなどの意見が出されました。大切なことは、あいさつの意義（あいさつは仲間意識を高め、人間関係を良好にする大切な行為）を大人が理解し、子供に伝えていくことが重要であるということが話し合われました。今後の取組として、

- ・あいさつがしやすく、思いやりの心を持ちやすくする環境づくりを地域ぐるみで作る。
- ・まずは家庭でのあいさつにしっかり取り組む。
- ・集団活動で仲間意識を高める。

という方向性を確認しました。



「体力向上」分科会

課題：児童の体力向上

冬期間に向けて体を動かすことが少なくなるので、冬の遊びのアイデアを教える場を作り、子供達に伝えていけばよい。けん玉などの遊びも意外と体力を使うので取り組んだらどうか、PTCA活動でドッジボールやいろいろな運動種目の親子対決の場を作ったりするとよいのではないか、などいろいろな観点からご意見が出されました。今後は、

- ・クラブポットさんなどの専門機関と連携をして体力向上に向けた取組を行う。
- ・生活の中で体を動かす活動（雪かき、マラソン、徒歩）に取り組む。
- ・他の学校の取組を調査し、参考にする。
- ・チャレンジランキングのしくみを作り、日常的に体力向上への意欲付けを図る。

などの方向で具体化を図りたいと思います。



各分科会で課題に対して具体的なご意見をたくさんいただき、本当に充実した内容の会にすることができました。一人一人の委員の皆様が兼六小学校に対する熱い思いを感じた一時でした。皆様からいただきました貴重なご意見の具体化に向けて努力を重ねていこうと思います。

保護者・地域の皆様におかれましても、子供達の健全育成に向けて、これまで以上のご協力・ご支援をお願いいたします。兼六小学校の子供達を地域で育てていきましょう。本当にありがとうございました。

今回の第3回学校運営協議会は、2月6日（火）の予定です。今後も協議会の様子や学校の取組について、この「コミュニティ・スクールだより」を通じて保護者・地域の皆様にお知らせいたします。